

# 事業評価のためのチェックリスト 検診実施機関用 調査票ひな型（案）について

## 背景

- 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知別添）において、検診機関は、適切な方法及び精度管理の下で各種検診が行われるよう、各検診機関が整備すべき最低限の項目を示した事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用）を参考とするなどして、各がん検診の精度管理に努めることが求められている。
- また、市区町村用チェックリストにおいて、検診実施機関用チェックリストの遵守状況を各検診機関へフィードバックすることが求められている。

## 現状

- 令和5年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」において、問6-2-1「『検診実施機関用チェックリスト』の遵守状況をフィードバックしましたか」に対し、実施したと回答した都内自治体の割合は以下のとおり

集団	胃X線	胃内視鏡	肺	大腸	子宮頸	乳
東京都（R5）	17.1%	25.0%	17.9%	17.6%	20.0%	5.9%
全国（R4）	33.7%	24.3%	33.6%	33.0%	33.3%	32.9%

個別	胃X線	胃内視鏡	肺	大腸	子宮頸	乳
東京都（R5）	8.0%	15.6%	17.9%	7.8%	5.7%	8.3%
全国（R4）	16.3%	20.4%	16.7%	16.0%	19.7%	18.6%

※令和5年度の全国平均が現時点で未公表のため、令和4年度の全国平均との比較

## 課題

- 区市町村による、検診実施機関用チェックリスト調査・フィードバックの実施率が低く、一体的に検診機関の質を保つことが難しい。
  - 検診機関数の多さや、紙媒体による調査と手作業による集計を求められる環境等により、調査・フィードバックの実施に多大な作業を要する自治体が一定数存在する。
  - 都内における検診実施機関用チェックリストの詳細な回答基準は統一されたものがない。

## 取組

- 国立がん研究センターによる「事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用）」をもとに、調査票ひな形（Excel）を作成し、回答基準を提示した。回答基準を作成するにあたり、①国立がん研究センターへの問い合わせ、②既に検診実施機関用チェックリスト調査を行っている自治体へのアンケート調査を行った。
- 本チェックリストに回答することを通して検診機関が整備すべき最低限の項目を周知するため、各がん種における手引きやマニュアルを元に調査票ひな型に一部解説を記載した。
- 本部会で検討したひな型について区市町村へ周知を行い、令和6年度以降、区市町村連絡会や区市町村訪問等を通して、検診実施機関用チェックリスト調査の実施・フィードバック実施率の向上を促す。